

CHDF / CRRT 中の離床 5分フロー記録シート

アクセス部位・回路・アラームを同じ順番で確認し、止めどきと次回条件を残すための A4 記録シート

患者 ID		評価日		評価者	
場所		アクセス部位	☐ 頸部 ☐ 鎖骨下 ☐ 大腿	実施段階	☐ ベッド上 ☐ 端座位 ☐ 立位 ☐ 歩行

1) 離床前チェック：No があれば先に整える

確認項目	チェック	No / 変化あり の対応
アクセス部位・固定	☐ 部位共有 ☐ 固定安定 ☐ 抜去リスク低い	開始しない。固定・体位・実施範囲を看護師 / CE と確認
回路の余裕	☐ 張りなし ☐ 屈曲なし ☐ 床・柵に接触なし	回路の形を作り直し、再チェック後に再判断
アラーム	☐ 脱血不良なし ☐ 静脈圧安定 ☐ 直前に頻発なし	原因を先に切り分け、開始しない
循環・症状	☐ めまいなし ☐ 冷汗なし ☐ 会話量低下なし	安静化し、施設基準に沿って再評価
役割分担	☐ 患者係 ☐ 回路係 ☐ 連絡先を共有	決まるまで開始しない

2) 5 分フロー

1 アクセス	部位と固定を共有
2 回路	張り・屈曲・垂れを確認
3 アラーム	脱血不良などの頻発なし
4 症状	めまい・冷汗・会話量低下なし
5 再判断	進む / 止める / 戻すを記録

3) 中止トリガー

トリガー	対応
脱血不良などのアラーム	中止 → 姿勢を戻す → 張り・屈曲解除
回路が張る / 屈曲する	中止 → 回路の形を作り直す
アクセス固定が不安定	中止 → 固定確認 → 看護師 / CE へ共有
冷汗・めまい・会話量低下	中止 → 安静化 → バイタル再評価
施設の中止基準に抵触	中止 → 施設基準で判断し共有

4) 記録：中止理由と次回の上限段階を残す

タイミング	記録すること	メモ欄
開始前	アクセス部位 / 固定 / 回路の張り / 直前アラーム	
離床中	段階 / 体位 / 回路の張り・屈曲 / アラーム / 症状	
中止時	中止理由 / 戻した操作 / 改善の有無 / 共有先	
終了後	終了後症状 / 主要バイタル / 次回の上限段階	

5) 次回確認・申し送り

次回の上限段階・条件	共有メモ（看護師 / CE / 医師）